

NEWS RELEASE



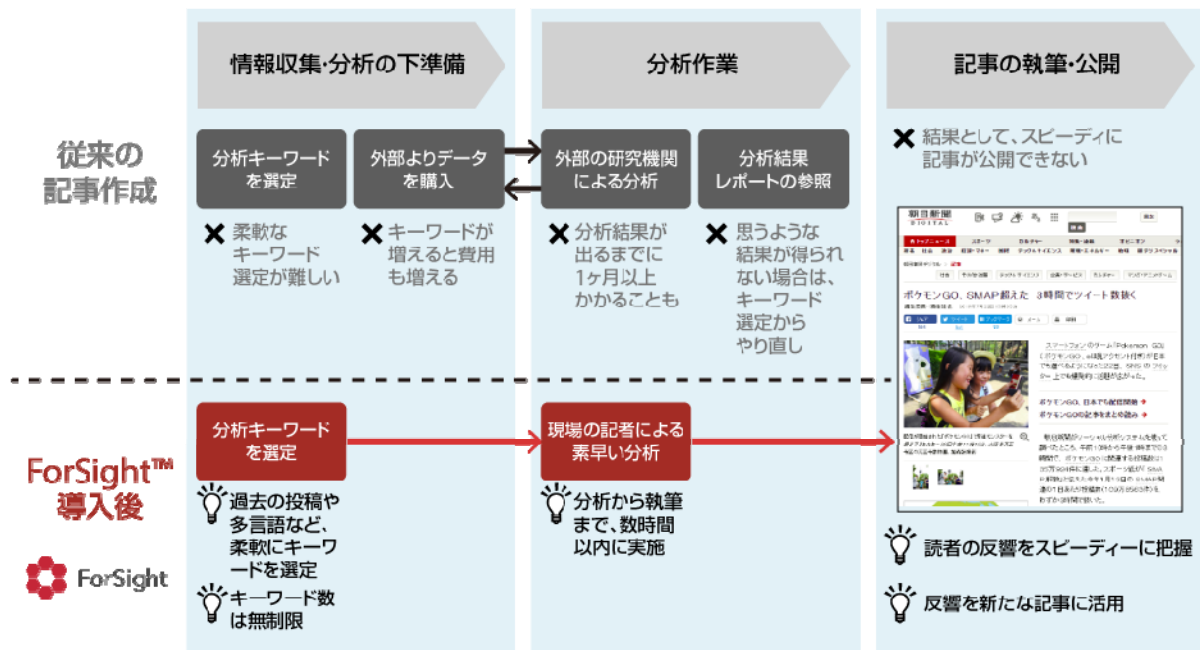
報道関係者各位

2016年10月11日
株式会社ブレインパッド

ブレインパッド、朝日新聞のソーシャルメディア分析を支援 － Twitter のつぶやき分析により“世の中の声”を反映した紙面をスピーディーに実現 (Crimson Hexagon ForSight™ Platform 導入事例) －

株式会社ブレインパッドは、株式会社朝日新聞社にソーシャルリスニング・プラットフォーム「Crimson Hexagon ForSight™ Platform（以下 ForSight™）」を導入したことを発表いたします。
朝日新聞社は現在、地方総局を含め全国で約40名の記者が「ForSight™」を活用し、日々の取材活動の中で Twitter などのソーシャルデータを素早く分析し、その結果を記事の執筆に役立てることで、従来よりも効率的な取材活動と“世の中の声”に裏付けられた質の高い紙面を実現しております。

(注)「Crimson Hexagon ForSight™ Platform」・・・クリムゾンヘキサゴン・フォーサイト・プラットフォーム



▲ForSight™により、質の高い記事をスピーディーに執筆・公開

■「ForSight™」の導入の背景

朝日新聞社は、発行部数約650万部を誇る全国紙「朝日新聞」や会員数260万人を誇る電子版「朝日新聞デジタル」を提供する日本を代表する総合メディア企業の一つです。

同社は、2011年からメディアの中でもいち早くソーシャルメディア分析を取材活動に取り入れ、データに基づく“世の中の声”を反映させた紙面作りに取り組んできました。しかしながら、従来はソーシャルデータの準備、外部の研究機関に依頼してのデータ分析、分析結果をふまえた記事執筆までの一連のプロセスに数ヶ月を要することもあり、限られた記事での活用にとどまっておりました。

そこで同社は、ソーシャルメディア分析の専門家ではなくても、現場の記者自身が日々の取材活動の中でデータを素早く分析し記事の執筆に活用することを目指し、ブレインパッドが提供するソーシャルリスニング・プラットフォーム「ForSight™」を導入いたしました。

■「ForSight™」の導入効果

朝日新聞社の記者は、例えば世の中のブーム・社会現象が「本当に話題になっているのか」を素早くソーシャルメディア上の投稿から分析してその根拠を探ったり、読者からの反響を投稿から把握したりして、記事作りに反映することができるようになりました。

従来、外部の研究機関に依頼をすると数ヶ月かかっていたソーシャルメディアの分析は、ForSight™の導入より数時間で行うことが可能となり、よりスピーディーに質の高い記事を執筆できるようになりました。

■「ForSight™」の導入を推進された、株式会社朝日新聞社東京本社報道局

コンテンツ戦略ディレクター 兼 ソーシャルメディアエディター 藤谷 健 様からのコメント

「弊社はソーシャルメディア分析に本格的に取り組むにあたり、複数のツールを比較検討しました。『ForSight™』を選定した主な理由として、さまざまな視点での深堀分析が数時間で習得できる [簡易性]、リアルタイムの投稿だけでなく過去の Twitter 投稿も対象に分析できる [Firehose (*1) 対応]、多言語対応により複数の国々でのソーシャル上の反応を確認できる [グローバル対応] などが挙げられます。弊社では、取材活動で利用するだけでなく、記事公開後の反響の把握にも『ForSight™』を利用しています。今までは、読者から投書などがないと記事の反響がわかりませんでした。各記者がよりリアルタイムに世の中の声を把握し、その結果を紙面作りに活かすことができるようになりました。今後も、『ForSight™』に大いに期待するとともに、社内の利用者を増やしていきたいと考えています。」

■本事例について詳しく知りたい方は、セミナー開催レポートをあわせてご覧ください。

本年 9 月 1 日に開催された「ソーシャルリスニング活用と企業マーケティング実践セミナー」では、朝日新聞社にご登壇いただき本事例をご紹介いただきました。当日開催レポートは、ブレインパッド公式ブログ「Platinum Data Blog」に掲載しております。

前編 URL: <http://blog.brainpad.co.jp/entry/2016/10/11/123000>

後編 URL: <http://blog.brainpad.co.jp/entry/2016/10/11/123100>

■『ForSight™』関連セミナー開催のお知らせ

「ソーシャルデータから消費者の本音を発掘！！セミナー
～ポジティブ／ネガティブ要因から真のニーズをのぞく～」

内容：「Crimson Hexagon ForSight™ Platform」を実際に活用した事例のご紹介と、同ソリューションの概要についてご説明いたします。

日時：2016年10月21日（金）16:00～17:30（受付開始 15:30）

場所：株式会社ブレインパッド セミナールーム

（東京都港区白金台 3-2-10 白金台ビル 3F）

セミナーの詳細およびお申込みは、以下のサイトをご覧ください。

URL: <http://www.brainpad.co.jp/seminar/2016/09/20/3525>

(*1) Firehose とは、米国・Twitter, Inc が提供する、すべてのツイートデータをリアルタイムに取得できる API の使用契約のこと。「Crimson Hexagon ForSight™ Platform」は、2010年7月以降の全ツイートを検索することが可能。

■ご参考情報

●Crimson Hexagon ForSight™ Platform (クリムゾンヘキサゴン・フォーサイト・プラットフォーム) について <http://www.brainpad.co.jp/products/CrimsonHexagon.html>

Crimson Hexagon ForSight™ Platform は、ソーシャルメディアから、ブランドや商品に対する世界中の顧客エンゲージメントを分析するプラットフォームです。ソーシャルメディアのデータを用いた顧客インサイト分析により、マーケティングとビジネス・プログラムの活性化、最適化を実現します。米国・Twitter, Inc および Twitter Japan 株式会社、キャノン株式会社などで採用されているほか、世界中で 150 社以上の企業やブランドにご活用いただいております。

●株式会社朝日新聞社について <http://www.asahi.com/shimbun/>

本社所在地：東京都中央区築地 5-3-2 (東京本社)

設立：1879 年 1 月

代表者：代表取締役社長 渡辺 雅隆

資本金：650 百万円 (2016 年 3 月 31 日現在)

従業員数：4,178 名 (2016 年 3 月 31 日現在)

事業内容：日刊新聞の発行ほか

●株式会社ブレインパッドについて <http://www.brainpad.co.jp/>

(東京証券取引所 市場第一部：証券コード 3655)

本社所在地：東京都港区白金台 3-2-10 白金台ビル

設立：2004 年 3 月

代表者：代表取締役社長 佐藤 清之輔

資本金：331 百万円 (2016 年 6 月 30 日現在)

従業員数：182 名 (連結、2016 年 6 月 30 日現在)

事業内容：アナリティクス事業／ソリューション事業／マーケティングプラットフォーム事業

■お問い合わせ先

●製品・サービスに関するお問い合わせ

株式会社ブレインパッド

ソリューション本部 営業部

TEL：03-6721-7002 e-mail：info@brainpad.co.jp

●本ニュースリリースに関するお問い合わせ

株式会社ブレインパッド

コーポレート本部 経営企画部 広報担当

TEL：03-6721-7700 e-mail：marcom@brainpad.co.jp

*本ニュースリリースに記載された会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

*本ニュースリリースに掲載されている情報は、発売日現在の情報です。

以上